

★° ∴ ° ★ 「あなたの夢、叶えましょう」 ★° ∴ ° ★

みなさんは、子どもと関わる仕事に就きたいという夢をもってこの大学に入学しましたね。勉強、課題、実習を経験していかがですか。

図書館には、様々な分野で活躍する人たちの本があります。色々な人の人生を知るのも勉強になりますね。夢を実現するためには？ 挫折しそうになった時は？ 自分を励ましたい時は？ ヒントになる言葉が沢山あるでしょう。多くの可能性を秘めたみなさん、あなたの夢を叶えましょう！ (原真由美)



センス入門  
松浦弥太郎



松浦弥太郎『センス入門』筑摩書房 2013

作者は、洋書を扱うお店を営むかわら「暮らしの手帖」編集長をとめるなど、常に新たな挑戦をし続ける人。仕事は誠実に、その先にいる人のためにをモットーに。私生活、人付き合い、時間、お金の使い方などセンスよくこなし、軽やかに夢をかなえます。お手本にどうぞ！

だいあな

大穴と彩子は、本が好きという共通点で友情が芽生えます。経済的な理由で大学進学を諦める大穴ですが、努力して本屋になる夢を叶えます。この小説の魅力は、本によって結ばれた友情や挫折しそうな時々で本によって救われること、二人の会話から様々な作家や作品が登場することです。

柚木麻子『本屋さんのダイアナ』新潮社 2014



森まゆみ『女3人のシベリア鉄道』集英社 2009

明治末から昭和の混乱期、恋人や夫、理想を追ってシベリア鉄道で大陸を横断した三人の女性作家たちがいました。与謝野晶子、中條百合子、林芙美子。著者もその足跡を追って汽車に乗り込み、寝台に揺られながら、逞しい彼女たちの残した旅の記録や生まれた作品に思いを馳せます。



〈夢をかなえた人たち〉

出久根達郎『夢は書物にあり』平凡社 2009 ☆本好きが高じて古本屋の主に  
中野明『ファミリア創業者 板野惇子』中央公論新社 2016 ☆子供服にこめた夢と愛情  
宮崎駿『本へのとびら』岩波新書 2011 ☆ジブリは大人も子どもも笑顔に  
幅義孝『本の声を聴け』文藝春秋 2013 ☆本棚を輝かせる、ブックディレクター  
小川三夫『不揃いの木を組む』草思社 2001 ☆宮大工、法輪寺三重塔、薬師寺金堂を再建  
鄭鴻生『台湾少女、洋裁に会う』紀伊國屋書店 2016 ☆1930年代台湾、洋裁好きの少女は、やがて夢だった洋裁学校を開校

〈自分を励ます言葉がほしい時〉

久保覚『女たちの言葉』青木書店 2001  
若松英輔『言葉の贈り物』亜紀書房 2017  
やなせたかし『明日をひらく言葉』PHP文庫 2012  
坂東真理子『坂東真理子の「わたし」磨きの名言集』世界文化社 2009  
花森安治『灯をともし言葉』河出書房新社 2013



